

(様式1)

校番	高6
----	----

平成29年7月18日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書選定手順（報告）

月日（曜日）	選定の手順・手続き等
5月31日（水）	・ 平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書採択事務説明会に出席する。
6月6日（火）	・ 校長は、校内における平成30年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「平成30年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。
6月7日（水）	・ 選定委員会において、教科用図書選定が適正かつ公正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。 ・ 校長は、調査員を任命する。
6月12日（月） ～	・ 選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。 ・ 調査員は、選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。
7月7日（金）	・ 調査員は、調査結果を選定委員に報告する。
7月8日（土）	・ 選定委員会を開催し、平成30年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。
7月14日（金）	・ 校長は、選定委員会からの答申に基づき、平成30年度使用教科用図書申請書を作成する。
7月18日（火）	・ 校長は、広島市教育委員会へ、平成30年度使用教科用図書申請書を提出する。

(様式 2)

校番	高 6
----	-----

平成 29 年 7 月 18 日

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成 30 年度使用高等学校・中等教育学校 (後期課程) 用教科用図書選定資料 (報告)

1 学校の特色

自己に挑戦し、社会に貢献できる人間の育成を教育目標に、中高一貫教育校として、生徒の個性・能力を最大限に引き出し、幅広く多様な進路への進出を実現できる活力のある学校を目指している。広島中等教育学校への移管を目前とし、3年生3クラスのみの小規模な学校となっており、生徒の大半は安佐北中学校からの入学生である。併設型の中高一貫教育校として、6年間を見通した教育活動全体を計画し、実践している。学校行事や部活動など、中高で一体となって取り組んでおり、生徒達も中高一体の意識を強く持っている。進路指導においても、中学校段階から系統的に実施している。

少人数による学級編成、希望進路に沿ったカリキュラム編成、II 類型 (特進クラス) の設置など、教育内容を充実させ、生徒の個性・能力を最大限に引き出し、幅広く多様な進路への進出を実現に努めている。

2 生徒の実態

学校での学習態度は落ち着いており、授業規律は守られている。学習活動だけでなく、部活動や生徒会活動等の自主的な活動にも意欲的である。

生徒の大半が大学進学を目指しており、難関大学を目指す生徒も年々、増えている。


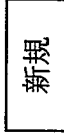
幅広い学力層の生徒が在籍しており、高い進路目標を持って主体的な学習に励む生徒がいる一方で、基礎的基本的な学習内容の定着に、よりきめ細やかな指導を必要とする生徒もいる。

3 調査の観点及び視点

	観点	視点
①	基礎基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述
②	学習方法の工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫
③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫
④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫
⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫
⑥	発展的内容の充実	○発展的な学習内容の扱い方 ○発展的な内容の配列・表記等

平成30年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 新規で選定した教科書は「新規の選定」欄に「新規」と記載すること。
* 「新規」と記載するものうち、 は新規の申請、 新規 は改訂版とする。
- 3 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 4 すでで使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 5 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

(様式3)

校番 高6

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年 7月14日

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その1)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
3	国語	国語表現	新規	183 第一	国表 308	高等学校 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	発展的な学習の充実を図るため、文章の書き方について具体的な課題を挙げ、解答例や詳しい解説を掲載している。
				2 東書	国表 304	国語表現	◎	◎	◎	◎	◎	
③	国語	現代文B		50 大修館	現B 310	精選現代文B	○	◎	◎	◎	◎	課題解決的な学習を展開するため、脚注間や教材末の問いを数多く設定している。
③	国語	古典B		2 東書	古B 302	精選古典B 古文編	◎	◎	◎	◎	◎	思考力・判断力・表現力の育成を図るため、本文の内容に即した「言語活動」を設けている。生徒の興味関心を高めるため、適宜コラム等を設けている。
				2 東書	古B 303	精選古典B 漢文編	◎	◎	◎	◎	◎	
3	地理歴史	世界史B		2 東書	世B 308	世界史B	◎	◎	◎	◎	◎	発展的な学習の充実を図るため、適宜「深める」を設け、学習したこと等を踏まえて、さらに追究させる課題を示している。
				81 山川	世B 310	詳説世界史 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	
③	地理歴史	日本史B		81 山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	生徒が史料を通して歴史的現象を考察することができよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。

(様式3)

校番	高6
----	----

平成29年 7月14日

広島市教育長様
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その2)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価						選定	選定の理由
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動	発展		
③	地理歴史	地理B		46 帝国	地B 304	新詳地理B	◎	○	◎	◎	○	◎	選定	発展的な学習の充実を図るため、学習した内容に加えて、さらに詳しく説明する「プラスα」を適宜掲載している。
				130 二宮	地図 311	詳解現代地図	◎	◎	○	○	○	○	選定	
③	地理歴史	日本史演習		81 山川	日B 309	詳説日本史 改訂版	◎	◎	◎	○	○	◎	選定	生徒が史料を通して歴史的現象を考察することができるよう、関連する史料を原文で適宜掲載している。
				46 帝国	地B 304	新詳地理B	◎	○	◎	◎	○	◎	選定	
3	公民	現代社会		7 実教 183 第一	現社 315 現社 322	最新現代社会 新訂版 高等学校 改訂版 新現代社会	◎	◎	◎	◎	○	◎	選定	生徒が学んだ知識を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し表現することができるよう、適宜「Study」を掲載している。
				183 第一 35 清水	倫理 310 倫理 308	高等学校 改訂版 倫理 高等学校 新倫理 新訂版	◎	◎	◎	◎	○	◎	選定	

(様式3)

校番 高6

平成29年 7月14日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その3)

学年	教科名	科目名	新編の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価					選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記	言語活動			発展
3	公民	政治・経済		183 第一	政経 309	高等学校 改訂版 政治・経済	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒が目的意識をもって主体的に学習に取り組めるよう、各節の冒頭に「ポイント」を設定している。
				81 山川	政経 316	詳説 政治・経済 改訂版	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
③	数学	数学Ⅲ		104 数研	数Ⅲ 308	数学Ⅲ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	学習内容の定着を確認できるように、節末問題は参考となる問題番号を付している。また、章末問題は、その章の復習問題をA、総合的な問題をBと分類して示している。
③	数学	数学演習Ⅱ		104 数研	数Ⅱ 309	数学Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒が発展的な学習に取り組めるよう、学習指導要領の範囲を超えた事項を「発展」として適宜扱っている。
③	数学	数学演習Ⅲ		104 数研	数B 309	数学B	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、例題は難易によって3つに分類し、応用例題には解答の指針を示している。
③	数学	数学演習Ⅳ		104 数研	数Ⅱ 309	数学Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	生徒が発展的な学習に取り組めるよう、学習指導要領の範囲を超えた事項を「発展」として適宜扱っている。
③	数学	数学演習Ⅴ		104 数研	数B 309	数学B	◎	◎	◎	◎	◎	◎	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、例題は難易によって3つに分類し、応用例題には解答の指針を示している。

(様式3)

校番 高6

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

平成29年 7月14日

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その4)

学年	教科名	科目名	新規の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	理科	物理		104 数研	物理 304	物理	◎	◎	◎	◎	◎	◎	見直しをもって学習することができるよう、「復習」「関連」や、理解しづらい内容を重点的に説明した「Zoom」を掲載している。
							◎						
③	理科	化学		104 数研	化学 306	化学	◎	○	◎	○	○	◎	見直しをもって学習ができるよう、「復習」「関連」として明示している。また、学習内容を深めることができるよう発展の中に問いを設定している。
							◎						
③	理科	生物		183 第一	生物 304	高等学校 生物	◎	◎	◎	○	○	◎	基礎基本の定着を図ることができるよう、単元のまとめを「整理」で掲載している。また、興味関心を高めることができるよう、「参考」を設けている。
							◎						
③	理科	化学基礎 演習		104 数研	化基 319	改訂版 化学基礎	◎	○	◎	○	○	◎	基礎基本の定着を図ることができるよう、単元ごとまとめと、「Zoom」を設けている。また、学習内容を深めることができるよう、「発展」に数多くの問いを設定している。
							◎						
③	理科	生物基礎 演習Ⅱ		183 第一	生基 308	高等学校 生物基礎	◎	○	◎	○	◎	◎	基礎基本の定着に加え、単元の内容をより深く学習することができるよう、章末に探究活動、章末問題、発展的なコラムを掲載している。
							◎						
3	外国語	コミュニケーション 英語Ⅲ	新規	183 第一	コⅢ 320	Perspective English Communication Ⅲ	○	◎	◎	○	◎	○	本文の内容について、自分の考えや意見を述べ合う言語活動ができるよう、各レッスンの終わりに「Activity Plus」を設けている。
							○						
				2 東書	コⅢ 303	PROMINENCE Communication English Ⅲ	○	◎	○	○	○	○	

(様式3)

校番 高6

平成29年 7月14日

広島市教育長様
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立安佐北高等学校

校長名 久保田 まゆみ

平成30年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書申請書(その5)

学年	教科名	科目名	新編の選定	発行者の番号、略称	教科書の記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由		
							基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動	発展
③	外国語	英語表現 II		61 啓林館	英 II 307	Vision Quest English Expression II	○	◎	◎	○	○	○	選定	文の構成からプレゼンテーションやダイベートへ英語表現を段階的に学ぶことができるよう、「文をデザインする」、「パラグラフを書く」、「英語で発信する」と教科書を3パートに分けて示している。
③	外国語	英語演習		61 啓林館	英 II 307	Vision Quest English Expression II	○	◎	◎	○	○	○	選定	文の構成からプレゼンテーションやダイベートへ英語表現を段階的に学ぶことができるよう、「文をデザインする」、「パラグラフを書く」、「英語で発信する」と教科書を3パートに分けて示している。

(様式4)

広島市立安佐北高等学校平成30年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立安佐北高等学校(以下「学校」という。)において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立安佐北高等学校平成30年度使用教科用図書選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員7人をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 学校の校長・教頭・事務長・教務担当教諭
 - (2) 保護者代表・学校協力者会議委員代表・学識経験者等
- 2 委員の任命及び委嘱は校長が行う
 - 3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の8月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、校長とする。
- 3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。
- 4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

- 2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立安佐北高等学校において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、平成29年6月6日から施行する。